

あなたの声を議会に…



No.142

(年4回発行予定)

令和7年2月16日発行

市議会だより



おおすみ植樹祭における新城神貫太鼓演奏 (R7.2.1 高峠つつじヶ丘公園)

目次

【令和6年第4回定例会】	2
常任委員会審査結果	3
一般質問	5
議案等の審議結果	12
令和7年第1回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会
編集／垂水市議会だより編集委員会
鹿児島県垂水市上町114番地
Tel 0994-32-1111 (内線358)
メールアドレス
t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和6年
第4回定例会

一般会計補正予算 (第6号)(第7号)(案) 可決 一般会計予算総額 147億4,138万円

第4回定例会は、11月29日から12月20日まで22日間の会期で開かれ、21件の議案や報告が審議されました。

定例会では、ふるさと納税制度事務費や産婦人科医療体制確保補助金等に係る一般会計補正予算(第6号)15億7,239万円の増額、住民税非課税世帯及び住民税非課税世帯の子どもへの給付金および新型コロナウイルススワクチン予防接種健康被害救済制度に係る一般会計補正予算(第7号)1億1,712万円の増額は、ともに全会一致で可決されました。

また、本会議最終日に追加上程した議案第88号垂水市議会会議規則の一部を改正する規則案は令和7年第1回定例会からタブレット端末を本格運用することに伴い、改正するもので全会一致で可決された。

今回、審議された21件の議案等すべてが全会一致の可決となり、令和6年の定例会が終了した。

※審議結果は11・12ページに掲載

一般質問では12名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は5ページから掲載

～令和6年度一般会計補正予算(第6号)の主な事業～

光ケーブル移設修繕業務

4,521万円

国道220号線牛根境防災整備事業の支障となる本市光ファイバーケーブルの移設に要する経費

ふるさと納税制度事業費

15億3,947万4千円

寄附見込み増加に伴う返礼品、事務費等の増額
※返礼品基準の厳格化に伴い、一部返礼品を本市のみで取り扱うため、寄附金増加を見込んでいる

一般会計補正予算(第6号) 15億7,239万7千円

老人保健施設コスモス苑修繕

100万円

台風10号により被災した介護老人保健施設コスモス苑の屋上防水シートを修繕するための経費

特産品販路拡大支援事業

154万円

JAL国際線ファーストクラスラウンジでの寿司ネタ(海の桜勘)がインバウンドの増加により、前倒しで完売となり、追加するための経費

産業厚生委員会

12月12日に産業厚生委員会が開催され、11月29日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

垂水市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案

付託内容

子ども医療費助成制度の一部改正に伴い、垂水市条例の一部を改正しようとするもの。

本市では、今年度から18歳までの全ての児童が市内の保険医療機関等を利用した際の窓口負担を無料とし、市外で受診した際は一旦窓口で医療費を支払い、後日助成していたが、今回の条例の改正に伴い、市内・市外に関わらず、県内で受診した際の窓口負担が無料となる。

主な質疑

問 助成を受けられるのは令和7年の4月からか。

答 県の補助要綱では令和7年4月からとなっているが、本市は令和6年4月から始めている。令和7年4月から、県、市内・市外に関わらず無料となるが、市外で受診する場合は、一度支払った後、助成する形となる。

垂水市マリンスポーツ施設の指定管理者の指定について

付託内容

令和7年3月31日をもって指定管理が終了することに伴い、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、新たな指定管理者の選定について議会の議決を求めるもの。



指定管理者選定委員会、オーシャンズクラブ合同会社を候補として選定。指定管理期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間。

主な質疑

問 前回の指定管理料が3年間で2400万円なのに対し、今回は5年間で2640万円だが、経営的に問題はないのか。

答 令和10年度に市政70周年と合わせて全国大会を開催することで、翌年度の事業収入が増える見込みであり、新たな自主事業を実施することにより、5年間で約2400万円の収入が見込まれるため、問題ないと思われる。

令和6年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案

付託内容

障害福祉サービス費の増額、清掃センター使用のダンプカーの買替え、最適化推進委員報酬の増額、肝属地区植樹祭事業負担金、空き家解体撤去事業補助金の増額等を審査。

主な質疑

問 清掃センターで使用するダンプカーを購入するにあたり、リースした場合との比較について伺う。

答 検討はしたが、陶器類などの割れ物の輸送に使用するため、リースした車に傷がついてしまう恐れがあり、購入が妥当であると判断した。

問 おおすみ植樹祭は参加者が多く見込まれるということだが、どのくらいの参加者を見込んでいるか。

答 当初は300人で計画していたが、倍の600人に増やして計画している。

問 空き家解体事業補助金が240万円の増額とあるが、解体件数の推移について伺う。

答 令和3年度に33件、令和4年度に55件、令和5年度に40件解体されている。



令和6年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）案

付託内容

介護老人保健施設コスモス苑の修繕、指定管理料及び交付金等を審査。

主な質疑

問 給食業務について、指定管理者から直営になった理由は。

答 令和6年2月に指名競争入札を行うため5社指名したが、全ての業者から人員不足による辞退となり、入札不調となった。契約を締結できる事業所が見つからなかったことから、同年3月18日の肝属郡医師会理事会で給食業務の直営化を決定し、同年4月1日から直営として運営を始めた。

総務文教委員会

12月13日に総務文教委員会が開催され、11月29日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例案

付託内容

令和4年に公布された「刑法等の一部を改正する法律」及び「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」に伴い懲役及び禁錮を廃止し拘禁刑が創設されたことから、本市職員の給与に関する条例他7件の文言整理を一括して行うものである。

主な質疑

問 「禁錮刑」と「拘禁刑」の違いは。

答 禁錮刑は受刑者を刑務所に入れて自由を制限する刑罰、懲役刑は刑務所で所定の刑務作業義務を課す刑罰である。今回の法律で禁錮刑と懲役刑がなくなり拘禁刑に統一された。拘禁刑とは禁錮刑と懲役刑を統一したものである。

第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市まち・ひと・しごと総合戦略について案

付託内容

まちの将来像である「豊かな食と自然を未来へつなぎ、みんなでつくる笑顔あふれるまち垂水市」を実現するための計画である。

主な質疑

問 新たな展開をするデジタル化の方向が強まっていくが、合意形成をどのように図っていくのか。

答 全国的な人口減少の流れは変えることができないため、市民の皆様の利便性向上を目的とし、デジタル化していくが、少しずつ慣れてきたき少しでも認識を高めてもらい、アナログと併用しながら誰一人取り残さない仕組みづくりに取り組んでいく。

問 若い世代の活躍が未来の垂水発

展の鍵となるが、発言の場をどのように考えているか。

答 庁内における経験が3〜5年の若い人たちが作るグループがあり、そこでは是非を考えるというシステムをとってデジタル化を進めている。業務の効率化が目標となるが、若い人たちが日頃何を考えているのか聞くようにしている。また、いろいろな発言については耳を傾けるようにしている。今後さらなる意識改革や仕組みづくりに注力していきたい。

令和6年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案

付託内容

委員会所管の事項で、災害応急対策費、市長、副市長及び一般職員の出張旅費等についての増額、まちづくり交付金、空き家リフォーム促進事業補助金、光ケーブルの移設修繕業務、電算システム改修・導入業務委託料、公民館借り上げ料、利子及び割引料の過誤納還付金、消防職員向けメンタルヘルス研修費、教育用タブレット端末の修繕に係る経費、垂水島津家墓所の墓石等修復事業の増額等。

主な質疑

問 空き家リフォーム促進事業補助金25万円増額した根拠は。

答 令和5年度まで2分の1補助の上限50万円だったが、空き家の有効活用をさらに図りたいというところもあり、工事費の3分の2の上限75万円に引き上げたもの。

問 マイナンバーカードを保険証として安全に使う方法をどのように市民に知らせているか。

答 国保だよりや広報誌に掲載し、多くの方々へ周知している。また、毎年2月から税務課で行っている申告相談会場で、マイナンバーカードに関する市民の相談に丁寧に対応していく。また、いろいろな場面を積極的に利用して周知に努めたい。

問 教育用タブレット修理はどのような状況のものか。

答 パネルの破損、バッテリーが4年目になっており壊れてきている。他にキーボード、バネなどが壊れる症状が多い。



令和6年 第4回定例会

一般質問

12 議員が登場！

市政を問う



第4回定例会において、12名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

【質問者】 ※質問順											
12番	11番	10番	9番	8番	令和6年12月11日	7番	6番	5番	4番	3番	2番
池田	篠原	北方	池山	持留		宮迫	梅木	川畑	新原	高橋	前田
みすず	静則	貞明	節夫	良一		隆憲	勇	三郎	勇	理枝子	隆
議員	議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員
P11	P10	P10	P9	P9		P8	P8	P7	P7	P6	P6
											1番
											川越
											信男
											議員
											P5

令和6年12月10日

【質問者】 ※質問順



川越

信男

議員



観光振興計画の策定と今後の取組は

問 作成は義務ではないとのことであるが、本市の観光振興を考える上で、具体的な観光振興計画の策定が重要で必要だと考えるが、作成に取り組む考えはないか伺う。

答 策定のタイミングだが、次期鹿児島県観光振興基本方針や第3期大隅エリア観光戦略の計画期間の開始が令和7年度であること、また、第6次垂水市総合計画兼第3次垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の開始も令和7年度であることから、これらの関係する計画と連動性のある計画を策定することが必要であると考えている。よって、令和7年度以降の策定で検討しているところである。

市内防災工事の現状と今後の動向は

問 最近の土木施設等における防災工事のこれまでの取組と推移について伺う。

答 直近3か年の整備実績であるが、令和4年度の砂防事業が上ノ宮川地区や深港川2地区など7地区、急傾斜事業が浜平2地区や中俣2地区な

ど4地区。令和5年度の砂防事業が、新たに新光寺第2小川地区を追加した7地区、急傾斜事業が同4地区。令和6年度の砂防事業が9地区、急傾斜事業が変わらず4地区となっており、多くの防災対策を行っているところである。

学校の在り方は

問 各学校に設置している学校運営協議会の設置目的と役割及び構成委員について伺う。

答 学校運営協議会の役割としては、学校と保護者及び地域の方々との間の信頼関係を深めて、学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図るものである。そのために学校運営協議会には、校長が作成する学校運営の基本方針を承認する・学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる等、主に3つの機能がある。委員の構成としては、保護者・地域の方々・学校の運営に資する活動を行っている方・学識経験者・行政職員・その他教育委員会が必要と認める方々の中から10人以内を校長が推薦し、教育委員会が委嘱することになっている。



その他の質問

○ふるさと納税制度に伴う影響と対応は



前田 隆 議員



年収の壁引き上げに伴う市税減収

問 手取りが増える所得税非課税枠が178万円に引き上げられた場合、本市減収見込み額はいくらになるか。

答 税制改正が決定していない中で、仮の設定での試算ではあるが、個人住民税の基礎控除を現行から75万円引き上げた場合、減収見込み額は1億7500万円程度と見込んでいます。

本市財政状況の課題

問 本市の実質公債比率（借入金の返済額の大きさから資金繰りの危険度を見る比率）は9.2%で年々増加し、資金繰りの危険度を増している。今後の見通しと増加を防ぐ市債発行計画を伺う。

答 今後の見通しは、消防・救急デジタル無線設備強化事業、消防第一分団詰所建設、椋原市宮住宅建設、牧橋等の道路橋梁整備事業に係る市債発行に伴い、元利償還金の増加が見込まれる。

公債費の抑制については償還期間が12年と短く、単年度の償還額が大きくなるデメリットはあるが、70%

交付税措置のある過疎対策事業債を多く選定し、活用している。市有施設整備基金等各種基金の活用を検討し、地方債発行総額の抑制を行っていく。

増加中のふるさと納税

問 今年度もふるさと納税が好調だが増加の要因と今後の取組及び目標を伺う。

答 増加の要因は防災対策需要の高まりから本市特産品の温泉水への寄附が好調なこと。令和6年10月以降、返礼品の登録申請が厳格化され、温泉水の取り扱いが複数の自治体から本市のみになったことが挙げられる。

今後の取組は温泉水やブリ・カンパチなど、垂水市の特産品の効果的な周知と寄付者への丁寧な対応に努めていく。今年度の目標としては、最低でも16億円、大きな目標として20億円を目指していきたい。



【その他の質問】

○経常収支比率について

○企業版ふるさと納税について



高橋 理枝子 議員



空き家対策と魅力的なまちづくりを

まちづくりを

問 空き家が放置され、まちが荒れた印象を与えることが、移住定住あるいは起業への妨げになるのではないかと考える。空き家問題は一刻の猶予も許されない現状であり、空き家対策プロジェクトチームを創設できないか。

答 空き家問題は本市にとっても喫緊の課題である。対応すべき分野が多岐にわたり、関係課が複数にあり、法的知識等の専門的な知識が求められるため、対応に時間を要する。庁内でも、空き家対策総合窓口の設置について検討すべきとの声が上がっている状況がある。関係課で議論を重ね、専門的知識を有した人材確保のための手法や、空き家対策総合窓口の所管部署や体制づくりについて検討を開始している。

日本版DBSこども

性暴力防止法は

問 2024年6月、こども性暴力防止法案が成立した。本案は日本版DBSと呼ばれ、制度導入がスー

トする見込みである。本市としても、子どもの安全確保のために必要な体制の構築などの準備が必要と考えるが、現段階での準備状況について伺う。

答 教職員の子どもへの性暴力問題が、社会問題として取り上げられている。令和3年に、教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律が制定されている。同法に関する職員研修を実施して、教職員に性暴力防止に関する知識を身につけさせるとともに、学校組織として事態を発生させない体制づくりや、早期発見と迅速で丁寧な対応ができるよう共通理解を図っている。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、性犯罪の未然防止を含め子どもへの尊厳・人権を守る取組を図っていく。

防災対策は

問 ペット同行避難の現状と、高齢者・女性・子ども用防災備蓄提案に対する進捗状況を伺う。

答 ペットと同行できる専用避難所は設置していない。施設管理者の理解や限られた避難所要員で運営することを考え、今後の検討課題としている。備蓄については市の定めた備蓄計画を作成中である。今後、5年間で品目ごとに目標としている備蓄数の確保を目指して取り組んでいく。

【その他の質問】

○市長の市民の声を聴く機会

○大人用紙おむつ回収について



新原 勇 議員



上水之上地区の大雨対策は

問 近年、台風・梅雨末期の大雨だけでなく10月11月にも400ミリの大雨が発生している。水之上小学校周りは過去にも床上浸水・車両水没が発生し、現在も少しの大雨で4か所の排水口の上まで水かさが増すのを危惧されており、対策を伺う。

答 寄り洲除去については、氾濫を未然に防止する重要な対策である。河川を点検し、治水上、緊急性の高い場所から順次実施している。水之上地区公民館独自の防災点検にて、毎年要望があり大隅地域土木事業連絡協議会で継続的な予算確保と寄り洲除去を要望している。今年度は、上本城橋下流側付近・牧橋・高城橋付近の3か所を実施する。恵光園付近は計画には入っていないが、寄り洲が堆積することで排水口がふさがり、内水氾濫が発生する恐れもあるので堆積状況を確認し、引き続き実施を要望する。

買い物難民の状況改善は

問 新城麓ではコンビニ、牛根麓では小売店と地元で暮らした店が閉店

し、買い物に不自由が生じている。現在の状況と対策を伺う。

答 移動販売サービスとして、Aコープの「きもつき浪漫号」は毎週水曜日に牛根麓地区から新城地区の6か所、「ゆめちゃん号」は毎週火曜日に浦川内・井川・下市木・城山・中俣、毎週木曜日に大野・垂桜の移動販売を行っている。3月に、閉店した牛根麓と新城麓に移動販売ができないか、JA鹿児島きもつきに相談し調整していただいている。移動販売以外では、牛根境・二川の店舗は区域内の商品弁当配達もある。市内タクシー3社において買い物代行サービスも実施している。



猿の行動範囲調査はしないのか

問 鹿屋・霧島市は調査を実施している。垂水も何群の猿群れがあるのか。群れの調査費用は一個体160万円位かかるが、鳥獣被害防止総合対策交付金を使って調査はできないのか。

答 今後の被害状況の推移や既存の対策効果および費用対策効果も検証し、専門家や猟友会のご意見をいただきたいと考える。

【その他の質問】

- ふるさと納税
- 移住定住対策
- 観光「ジオパーク」



川畑 三郎 議員



防災備蓄の状況は

問 能登半島地震・令和6年9月21日22日の豪雨で被災した方々は、避難所での苦しい生活を受けている。環境改善も問題になっており、特にトイレの確保が大事だが、本市の防災備蓄について伺う。

答 これまで、災害に備えた備蓄品として食料・生活必需品・トイレ等の備蓄に努めている。保管場所として、垂水中央運動公園敷地内及び垂水市民館敷地内の防災倉庫に備蓄しているほか、分散備蓄の観点で指定避難所の地区公民館などに一定の備蓄品を保管している。今年度、市の備蓄計画を作成中であり、県が平成25年度に作成した鹿児島県地震等災害予測調査を根拠に、今後おおむね5年間で品目ごとの目標としている。備蓄数の確保を目指して取り組む。現在、市が備蓄しているトイレは、今年度新たにポータブルトイレを20基購入し、合計で26基を備蓄している。

中山間地域等直接支払交付金は

問 中山間地域等直接支払交付金の状況について伺う。

答 農業者の生産条件が不利な地域

における農業生産活動を継続するため、国及び地方自治体による支援を行う制度であり、農業の有する多目的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、実施されている。費用は、国が半分、県と市がそれぞれ4分の1を支援している。本市は平成12年度から取り組み、令和2年度からの第5期対策として8協定、受益面積約149ヘクタールで、本制度の農業生産活動、多面的機能を増進する活動に取り組んでいる。現在、第5期の協定の農用地や農業生産活動について、評価を行ったうえで、第6期活動計画の策定に向けた準備を進めている。

林道の災害復旧状況は

問 林道海潟麓線で路肩の高さ70m、幅40mの崩落が発生した。災害復旧の状況を伺う。また、同路線とつながっている福岡浦谷線の整備も併せて伺う。

答 林道海潟麓線の被災箇所は、6月20から21日にかけての梅雨前線の降雨で被害を受けた。国の林道災害復旧事業における災害査定を9月18日に受検し、激甚災害の指定を受けており、今後、補助率の増高申請を行う予定としている。現在、復旧箇所の工事発注の準備を進めているが、標準工期を考慮すると、完成は令和7年10月頃を見込んでいます。

【その他の質問】

- 河川整備
- 水産業



梅木 勇
議員



元垂水の市道に歩道等の整備を

問 市道垂水49号線は旧鉄道線路跡を整備した道路で、元垂水をはじめ市木、城山団地からの通行に重要な道路で、城山団地入口から北方向へ新田神社までは速度制限のない車道のみで、歩道のない道路付近には自治公民館、ごみステーション等があり、朝夕にウォーキングなど人々の往来が多く、交通安全対策を望む声がある。また、上元垂水の国道への出口部分は、歩道が狭く国道へ出るため一時停止時に、進入車両があれば離合できない状態だが、歩道の設置と道路の拡幅はできないか伺う。

答 歩道の整備については、近年の健康ブームにより、ウォーキングやジョギングをする市民の方が増えていることは認識しており、今後の社会情勢の変化や交通量・歩行者の調査などを実施し、各振興会からの要望も確認したい。上元垂水の国道との交差点部については、一部拡幅を検討する必要があると考え、警察との交差点協議や国土交通省との取付協議等が必要である。

市街地での自動運転
コミュニティバスの運行を

地域公共交通については国道沿いの路線バス以外に、市中心部への移動手段として、事前予約型乗り合いタクシー市木ルート他3ルートの運行があり、新たに12月に牛根方面からの実証運行が始まり、市中心部への移動手段の利便性が高められているが、市中心部には65歳以上の高齢者も集中しており、公共施設等への移動交通手段がない状況である。市役所、JAきもつき、中央病院、市民館、文化会館、垂水港等をつなぐ交通対策が必要と考えられる。移動利便性を図るため、市街地を周回する自動運転コミュニティバス運行を提案するが、見解を伺う。

問 自動運転による交通サービスは、高齢者等の移動手段の確保、運転手不足の解消等につながる技術として期待されているが、一方で車両やオペレーションシステム等、運営のコストが高額になることなど課題も認識している。国が作成した手引きや先進自治体の事例を参考にしながら、市街地での移動利便性向上に向けた交通サービス導入の調査・検討をしていく必要があると考ええる。

【その他の質問】
○狩猟免許試験に必要な診断書の作成を市内の医療施設に相談を



宮迫 隆憲
議員



鳥獣害対策 ワイヤーメッシュ
柵の一刻も早い取り付けを

問 10年間の実績として、100キロメートル、119ヘクタールの田畑に設置済みと示されたが、まだまだ多くの要望があると伺っているが、今後の予定を伺う。

答 農作物が鳥獣被害に遭うと、経済的な損失はもろろのこと、営農意欲の衰退、心理的影響も大きいことから、農家への聞き取り調査や現場確認、被害状況の把握をし、事業活用に関する丁寧な相談対応に努めるとともに、座談会等を活用するなど、広く事業の周知を図りたいと考えている。今後の予定だが、現在6地区からの要望があることから、令和7年度鳥獣被害対策実践事業の採択に向け、国・県へ予算要望を行っているところである。

今後、農道の維持管理は
どうなっていくのか

問 各地域の奉仕作業等で、高齢化に伴い人手不足、ボランティア不足が深刻化しており、年々、土手の草

が生い茂り、一般車両や農耕車輛の安全も不安視されることから、農林課の考えを伺う。

答 農家の高齢化による担い手不足等により耕作放棄地の増加が見込まれる中、農道を通行する一般車両や農耕用車輛等の安全を確保するためにも定期的なパトロールを行い、災害等を未然に防ぐ維持管理体制の構築が必要と考えており、実情の把握に努め、地域の方々と維持管理体制の整備や管理方法について協議・検討してまいりたい。

浜平地区の河川の現状把握を

問 台風などの影響で俣江橋、尾迫橋、道の駅たるみずはまびら横の水路の河口部に砂が堆積し、排水口が狭くなり水が滞留しているが、今後、除去する予定はあるか伺う。

答 現地の状況を確認したところ、河口部に砂が堆積し、特に俣江橋については、河川の水が滞留している状況であり、大雨時に排水が阻害されるなど周辺への影響を及ぼす恐れがあり、また、常時水が滞留することとは衛生上問題があることから、なるべく早い時期に実施したいと考えている。

【その他の質問】

○6次産業化
○花いっぱい運動花壇整備委託事業
○ふるさと垂水の教育活動



持留 良一 議員



続く物価高騰から市民生活を守れ

問 市長は続く物価高騰の中、市民のくらしをどのように認識されているか。独自の支援策も必要ではないか。

答 これまでのデフレ経済から徐々にインフレに傾き、政府が目指していた2%のインフレを上回る物価高騰が続く中、昨年・今年と最低賃金も上がり続けているところではあるが、それでもまだ、物価高騰に対する先行きは見通せないと感じている。

本市においては、令和5年12月の補正予算で本市単独事業を創設し、事業者支援を行い、同時に非課税世帯への追加給付事業支援に取り組んできた。

また国においても、令和6年度分所得税及び令和6年度分個人住民税の減税を実施するとして、令和5年

度予備費及び補正予算において物価高騰対策が決定されたことから、本市においてさらなる支援策を講じてきた。今後も引き続き、国の動向を注視しつつ、市民にとって必要な財源措置について議会に諮り、実施していきたいと考えている。

問 市民の暮らしの応援策をどのような施策で支援していくか。

答 現時点において、交付額や交付の時期等、示されていないので検討する材料も非常に限られている。本市として詳細な情報を注視しながら、少しでも多くの市民の方々に広く行き届くような施策を、関係課とも協議していきたいと考えている。



池山 節夫 議員



錦江湾横断道路の早期着工
実現へ向け総決起大会開催

問 錦江湾横断道路構想の実現を目指して、これまで地域ごとに活動していた4つの団体が錦江湾横断道路推進連携協議会を立ち上げて、設立総会を開き、早期の事業化や着工を国に求める決議案を採択した。尾脇市長が、連携協議会の3副会長の一人として就任された。今後の活動について、副会長として進むべき方向についての見解を伺う。

答 各団体における活動を推進していただくとともに、国・県をはじめとする関係機関への要望活動、関係機関との連携及び情報交換、錦江湾横断道路実施路線化に向けての調査研究や啓発活動などを総合的に推進するよう働きかけることで、今後一層の実施路線化に向けた機運醸成を図り、事業推進の大きな力としたいと考えている。今後についても、市民の皆様方や関係団体の皆様方、周辺自治体と連携し、錦江湾横断道路推進特別委員会や国道整備促進特別委員会の皆様をはじめとする市議会の皆様に、より一層のお力添えを賜

りながら、全力で取り組んでまいりたいと考えている。

父子手帳の導入を

問 男性の育児を支援するために、県内の4市町村が父子手帳を導入している。垂水市でも導入すべきと考えるが、見解を伺う。

答 本市においては、保健課の窓口妊婦の届出に來られた際に、母子健康手帳と併せて母子健康手帳副読本を配布している。この副読本には、妊娠中の母体の変化や過ごし方などの基礎知識だけでなく、妊娠期からパートナーによる出産及び育児の理解と協力の必要性、また、出産後の子育てに必要な情報なども記載されており、パートナーとしての役割等について直接説明を行っている。今後、市民ニーズを踏まえ、父子手帳の必要性やパートナーに対する周知方法等について検討していきたいと考えている。

垂水高校振興対策を

問 垂水高校の魅力発信について伺う。

答 より多くの生徒を獲得できるように、垂水高校と連携しながら保護者や生徒の声・体験談を組み込むなど効果的に発信の仕方について研究し、タイムリーな良いニュースを届けていきたいと思っている。



北方 貞明

議員



中央地区の グラウンドゴルフ場建設を

問 私は、昨年の12月定例会で市長の公約である中央地区のグラウンドゴルフ場について質問し、その時の答弁が所管をどこにするか協議中で、候補地や完成までのスケジュールは現時点では話ができないとの答弁であったが、一年経って、その後の経緯と現状を伺う。

答 市長の公約であるグラウンドゴルフ場実現に向けて、企画政策課が中心に事業推進に努めているが、明確な所管課は決定していない。現在の状況は、住民の皆様から意見を伺うことが重要と考え、住民の皆様とこれまで3回、対話を重ねてきた。一回目は、中央運動公園内多目的広場、旧フェリー乗り場駐車場、垂水港緑地公園、市木地区運動公園の4つの候補地の検討を行った。二回目は、交通のアクセス面、利便性の観点から、垂水港緑地公園を最有力候補地として選定した。三回目は、垂水港緑地公園は県の所有地であることから、整備計画はグラウンドゴルフ場に特化したものではなく、多目

的な利用を想定しており、今後の維持管理は地域住民の協力も必要なことについて、ご理解をいただきたい。今後の具体的な整備は、グラウンドゴルフ協会と合意形成を図っていく。令和7年度に垂水港緑地公園の整備に関する基本設計を行い、令和7年3月定例会に関連予算を上程する方向で、現在調整を行っている。

粗大ごみの回収を

問 ごみ分別が実施化され、20数年経過し、現在のごみ分別は生ごみ・資源ごみ・燃やせるごみ・燃やせないごみ・桜島の降灰が回収されているが、粗大ごみについては市民自ら清掃センターに持ち込むか、回収業者に回収をお願いする方法しかない。市で回収することはなぜできないのか。

答 粗大ごみ等を含む一般廃棄物の処理については、大隅広域事務組合での処理となっている。粗大ごみについては、個人で清掃センターあるいは鹿屋市串良にある肝属地区清掃センターへの直接持ち込みとなっている。持ち込みの難しい住民の方がいらっしゃるのは認識しており、個人で対応できない方は近隣の支援や、各振興会での搬入、市内の業者に直接依頼をお願いしている。できない理由は閉鎖時に職員による収集業務廃止と収集業務委託費の経費削減を図るためである。



篠原 静則

議員



海水浴場の開設を

問 まさかり海水浴場の開設を見送っているが、観光交流人口の拡大と地域の活性化につながるため、新たな場所での海水浴場開設は考えられないのか。

答 約37キロメートルの長い国道に合わせ、海岸線が続いている本市では、よい海があり資源を活用するためにも、道の駅たるみずはまびらのマリンス施設などリンクさせ、どういう方法があるのか検討していきたい。



グラウンドゴルフ場の整備を

問 グラウンドゴルフ場については、垂水港緑地公園を最有力候補地とし、市長の任期内の完成を目指すという計画を伺う。

答 候補地の選定に関しては、最終的な最有力候補地は垂水港緑地公園となったが、中央運動公園内多目的広場の整備も要望があった。要望を踏まえ、中央運動公園全体の整備計

画を検討することとし、関連予算を新年度予算に計上するため調整している。グラウンドゴルフ専用施設の設置については、多様な観点から広く議論を重ねていく必要がある。

錦江湾横断道路・大隅横断道路の 開通に伴うまちづくりの必要性

問 道路が開通すれば大隅半島の玄関口になるが、都市部への人口流出のデメリットも考えられる。玄関口であるが通過点となり、交流人口も基礎人口とともに減少することも懸念される。メリットとして、都市部のベッドタウン化も考えられるが、住宅賃料や大型商業施設、病院数を考慮すると、都市部からはたして移り住むのか。また、垂水市内でも恩恵を受ける地域差が出てくるのではないのか。道路開通が人口流出に拍車をかけることがないよう、今から開通に対応したまちづくりが必要ではないか伺う。

答 まちづくりの方向性として、本市の魅力を発信し知名度を高め、市の魅力に実際に触れてもらう仕掛けづくりが必要である。また、快適な居住環境の整備が必要であり、老朽化した公営住宅や市道、水道施設などのインフラ整備を進める必要がある。

【その他の質問】

- 慈愛会サテライトクリニック
- 公設地方卸売市場について
- 交流人口について



池田 みすず 議員



災害発生時、一人でも多くの方に情報が届くように

問 先般発生した非災害性停電において、必要な方に必要な情報が行き届かなかったと聞いているが、市民へより迅速かつ正確な情報を届けるための方法について伺う。

答 急な停電に関して、その詳細な情報を市民に即時に発信することは困難であるが、その状況を踏まえ、九電停電情報アプリの紹介を行っている。今後もさらなる周知のため、広報誌への再掲載を検討している。



誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を

問 地域住民が抱える多様な生活課題に対応するため、重層的支援体制整備事業についての進捗と、本事業のより効果的な推進策を伺う。

答 現在、本市における地域課題も複雑化しているが、特に困難ケースの中には8050問題や、子育てと介護のダブルケア等、一つの世帯が

複数の生活課題を抱えているケースが増えている。重層的支援体制整備事業は、市町村の相談支援等の組織を生かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談・参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業を創設するものである。令和5年10月時点における厚生労働省発表の資料によると、鹿児島県内で5市町村が実施済みもしくは実施予定となっている。また、自治体の中で複数の関係課や地域住民、各関係機関との調整が必要となため、調整役となる有資格者の確保が難しいこと、事務が煩雑になること等の懸念から、実施時期未定としている市町村が多数を占めている。本市においても、実施時期未定としているが、令和6年4月の組織再編により重層的支援体制整備事業の中で実施する基本的な事業については、現在でも実施できている状況にある。また、本事業が任意事業であることから、しばらくの間はほかの自治体の状況を注視していく。なお、本市に合った任意事業の実施等、より良い事業とするための重層的支援体制整備事業実施計画の策定や複雑化する課題に迅速に対応するため、各課を超えての連携を可能とする調整役や支援プラン作成を担う社会福祉士等の有資格者の職員の確保も課題である。

令和6年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第9号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度垂水市一般会計補正予算(第5号))	衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙の 関連経費を執行するもの	承 認
議 案 第69号	令和5年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	令和5年度各会計の決算を審査する もの→閉会中の10月28～29日に 決算特別委員会で審査された内容に ついてはP14へ	認 定
議 案 第70号	令和5年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出 決算認定について		認 定
議 案 第71号	令和5年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入 歳出決算認定について		認 定
議 案 第72号	令和5年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出 決算認定について		認 定
議 案 第73号	令和5年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出 決算認定について		認 定
議 案 第74号	令和5年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算 認定について		認 定
議 案 第75号	令和5年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出 決算認定について		認 定
議 案 第76号	令和5年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計 歳入歳出決算認定について		認 定

令和6年第4回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議 案 第 77 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係 条例の整理等に関する条例 案	法律の施行に伴い、8件の条例において「懲役」及び「禁錮」と規定している文言を「拘禁刑」へと改めるもの	原案可決
議 案 第 78 号	垂水市税条例の一部を改正する条例 案	公益信託に関する法律及び所得税法の規定の見直しに伴う地方税法の改正にあわせて改正するもの	原案可決
議 案 第 79 号	垂水市子ども医療費助成条例の一部を改正する 条例 案	県の改正に伴い、市内・市外に関わらず、県内の保険医療機関等を利用した際の窓口負担が無料となるもの	原案可決
議 案 第 80 号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共 団体の数の減少及び同組合規約の変更について	鹿児島県市町村総合事務組合の規約の変更が必要になり、協議依頼に基づき上程するもの	原案可決
議 案 第 81 号	第5次垂水市総合計画基本構想の計画期間変更について	計画期間を「平成30年度から令和9年度まで」を「平成30年度から令和6年度まで」に変更するもの	原案可決
議 案 第 82 号	第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略案を定めることについて、議会の議決を求めるもの	原案可決
議 案 第 83 号	垂水市マリンスポーツ施設の指定管理者の指定について	垂水市マリンスポーツ施設の選定について、議会の議決を求めるもの	原案可決
議 案 第 84 号	令和6年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案	ふるさと納税制度事務費や産婦人科医療体制確保補助金等の増額	原案可決
議 案 第 85 号	令和6年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	介護報酬改定等に伴う介護システム改修に係るもの	原案可決
議 案 第 86 号	令和6年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）案	コスモス苑の調理業務を指定管理者の直営としたことに伴う委託料と負担金補助及び交付金の組み替え等に係るもの	原案可決
議 案 第 87 号	令和6年度垂水市一般会計補正予算（第7号）案	住民税非課税世帯及び住民税非課税世帯の子どもへの給付金および新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害救済制度に係る増額	原案可決
議 案 第 88 号	垂水市議会会議規則の一部を改正する規則 案	タブレット端末を導入するにあたり、情報通信端末機器を本会議及び委員会に持込み、会議での使用について規定するため、所要の改正を行うもの	原案可決

一般会計決算全体概要

	令和5年度	令和4年度	差 額	増減率
歳入 総額	138 億 4,901 万円	133 億 517 万円	5 億 4,384 万円	4.1%
歳出 総額	133 億 7,160 万円	128 億 6,844 万円	5 億 316 万円	3.9%
形式 収支	4 億 7,741 万円	4 億 3,673 万円	4,068 万円	9.3%
繰越 財源	4,984 万円	2,400 万円	2,584 万円	107.7%
実質 収支	4 億 2,756 万円	4 億 214 万円	2,542 万円	6.3%

10月28・29日に決算特別委員会が開会され、令和5年度の各会計歳入歳出決算について審査を行い、認定しました。

審査にあたり、決算の性質に鑑み、予算が議決の趣旨、目的に沿って適

決算特別委員会

正に執行され、かつ所期の目的が達成されたかどうか等に重点を置いて審査しました。

【一般会計決算状況】

決算額は、歳入が138億4901万円に対し、歳出が133億7160万円で、歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億7741万円となっている。

また、この額から繰越事業の財源として、翌年度へ繰り越すべき財源は4億2756万円となっている。

【監査委員意見】 ※抜粋

実質収支は一般会計で4億2756万6248円、特別会計全体で1億1964万6731円となっており、すべての会計で純損失のない黒字を計上し、健全財政を維持している。

特別会計決算額

特別会計名	決 算 額		実質収支
	歳 入	歳 出	
国民健康保健 特別会計	22 億 6,006 万 2 千円	22 億 5,534 万 5 千円	471 万 7 千円
交通災害共済 特別会計	844 万 7 千円	138 万 3 千円	706 万 4 千円
地方卸売市場 特別会計	253 万 2 千円	192 万 6 千円	60 万 6 千円
老人保健施設 特別会計	6 億 4,089 万円	6 億 4,089 万円	0 円
漁業集落排水 処理施設特別 会計	4,131 万円	3,963 万 1 千円	167 万 9 千円
介護保健 特別会計	23 億 3,657 万 6 千円	22 億 3,270 万 6 千円	1 億 387 万円
後期高齢者 医療特別会計	2 億 6,202 万 4 千円	2 億 6,031 万 2 千円	171 万 2 千円

○懸案事項

「地方債残高」は前年度より3億5884万9955円減少し、86億1607万817円となっており、減少傾向である。今後も市債の発行に当たっては、将来債務が財政運営を圧迫することがないよう、中長期的な目標設定を行い、地方債残高の抑制に努めていただきたい。

う要望する。

○一般会計（福祉課）

老人クラブの研修回数を増やすよ

○一般会計（企画政策課）

高齢者の方々にとっては、バス乗降の際の段差は負担があり、タクシー移動に補助金をお願いする。

【決算特別委員からの意見】

佐賀市：佐賀県中東部に位置し、人口は22万6千人。佐賀県で最大の都市、熱気球の街として賑わう。
中津市：大分県最北西部に位置し、人口は8万1千人。県内で人口が3番目に多く、文化財や歴史的建造物が有名なまち。

議会運営委員会 所管事項調査報告

1. 調査日 令和7年1月27日
～1月29日
2. 調査地及び調査内容

佐賀県佐賀市

【目的】

議会BCP計画について



佐賀市議会での研修状況

【調査の概要】

事業継続計画（BCP）とは、災害などの緊急事態が発生したときに、自治体や企業などが事業の継続や復旧を図るための計画であり、佐賀市議会では、大規模な災害等が発生した場合にとるべき議

会及び議員の役割や行動指針等を定め、迅速かつ適切な議会活動を確保することを目的として、佐賀市議会業務継続計画「議会BCP」を令和元年10月に策定し、運用している。

【まとめ】

近年、日本各地で台風や豪雨による災害はもとより、新型コロナウイルス感染症などの感染症による影響や、大規模な地震が発生し大きな被害をもたらしている。

そのような中、議会の業務継続が困難な時でも議員の役割などを定め議会活動を行うことが重要であり、本市議会においても業務継続計画について、協議していくことが大事であると考ええる。



佐賀市議会議場

大分県中津市

【目的】

議員間の自由討議について



中津市議会での研修状況

【調査の概要】

中津市議会では、議会改革マニフェストの取組として、平成23年から、自由討議の運用を開始した。定例会日程に1日間、議員のみでの自由討議を行い情報の共有や意思形成を図っている。

会派による持ち回りで、テーマ（2～3）を出し自由討議を行い、すべての議員が発言できるよう補足説明は5分程度。1人当たりの発言時間は、1回につきおおむね

3分以内としている。

【まとめ】

議員間の自由討議を開始してから10年以上が経過し、これまで70以上のテーマを討議していた。

討議したテーマは様々であり、「子育て問題」や「人口減少・高齢化について」など多くの自治体が課題としている問題を始め、珍しいテーマとしては、「大河ドラマ軍師官兵衛を生かした中津の活性化について」として地域振興について討議していた。

議員間の自由討議は、現在、様々な課題や問題が山積する現代社会において、解決のヒントになるのではないかと考える。



中津市議会議場

～ 議員の主な活動 ～

【令和6年11月～令和7年1月】

- 11月2日（土）串間市市制施行70周年記念式典（宮崎県）
- 11月5日（火）鹿児島県市議会議長会臨時総会（東京都）
- 11月6日（水）小規模市議長会中央要望（東京都）
- 11月7日（木）市町村議会広報研修会（鹿児島市）
- 11月8日（金）産業厚生委員会海ぶどう養殖見学（垂水市）
- 11月10日（日）関西垂水会総会（大阪府）
- 11月13日（水）山形県南陽市議会行政視察受入（垂水市）
- 11月20日（水）香川県琴平町議会行政視察受入（垂水市）



11/8 産業厚生委員会海ぶどう養殖見学



1/19 錦江湾横断道路建設促進
総決起大会

- 1月5日（日）二十歳のつどい（垂水市）
- 1月6日（月）消防出初式（垂水市）
- 1月9日（木）小規模市議長会定期総会（宮崎県）
- 1月11日（土）新春賀詞交歓会（垂水市）
- 1月19日（日）錦江湾横断道路建設促進 総決起大会（鹿児島市）
- 1月20日（月）鹿児島県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）
- 1月21日（火）錦江湾横断道路推進特別委員会中央要望（東京都）
- 1月27日（月）～1月29日（水）
議会運営委員会所管事項調査（佐賀県・大分県）



市議会だより 編集委員会

委員	副委員長	委員長
篠原 静則	宮迫 隆憲	池田 みずす
新原 勇	前田 隆	高橋 理枝子

委員改選に伴い、今号をもちまして現市議会だより編集委員での編集が最後になりました。

今後ともご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。



【特集 第5回】

垂水市魅力発見

第30回『花と溪谷と温泉』旗
たるみずU-10サッカー大会

1月18日・19日に垂水市にて、記念すべき節目を迎えた大会がありました。その大会は第30回『花と溪谷と温泉』旗たるみずU-10サッカー大会です。

伝統あるこの大会の趣旨として、『子供達がサッカーを通じて友情を深め、プレーの楽しさを知るとともに、技術の向上を図ることを目的とする』とありました。

総勢48チームの参加があり、子供達のボールに対する気迫や保護者の応援にも熱が入り、活気ある大会だと感じることができました。



お問い合わせ先
代表 高野 健太郎
TEL: 090-9564-9508



（宮迫 隆憲）

が魅力です。団員は垂水市内全域の小学生が対象ですので、お気軽にサッカーを体験しに来てください。

A チームにも長い歴史があります。が、変わりゆく時代の中で変わらないうスタイルを継続できています。団員・育成会・指導者のトライアングルで、子供と一緒に大人も喜怒哀楽を体感できることが魅力です。団員は垂水市内全域の小学生が対象ですので、お気軽にサッカーを体験しに来てください。

Q 垂水サッカースポーツ少年団の魅力は？

A 大会開催に際しまして、多くの方々に御協力を頂きましたことに感謝申し上げます。まずは子供達にサッカーを楽しんでもらうこと。楽しんだ結果として、垂水市の活性化にも寄与できればと思っています。歴史ある大会を継続していけるよう頑張ります。

Q この大会はどんな大会？

そこで高野監督に伺いました。



市議会へ行こう

令和7年 第1回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
2/10	11 建国記念の日	12	13	14 本会議
17	18	19 産業厚生委員会	20 総務文教委員会	21
24 振替休日	25 一般質問	26 一般質問	27	28 産業厚生委員会
3/3 総務文教委員会	4	5 予算特別委員会	6 予算特別委員会	7 予算特別委員会（予備日）
10 予算特別委員会（総括質疑）	11	12	13	14
17 本会議	18	19	20 春分の日	21

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。
（本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。）
※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前の2月7日です。
※2月14日、3月17日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

令和7年、巳年。「巳」という漢字は胎児の形を現した象形文字で、子宮が胎児を包む様子が由来とされていると言われているそうです。ヘビが冬眠から覚めて地上に這い出す姿から、寒い冬に雪の下で根をはった草木が新しい芽を出し、「新しい種子（命）が生まれる」という意味があるとも言われます。垂水市においても、一月に二十歳のつどいが実施され、若

者の夢と希望に満ち溢れた笑顔を拝見させていただきました。令和7年巳年、この垂水市の将来を担う若者たちにとって、この巳年が「実を結ぶ」年となってくれることを切に願っております。そして、十年後の私が今の自分を振り返り、十年前もよかった、常にそう思える今を生きていくことこそが「今を生きる」ということだと考えます。皆さん、今を生きましょ。皆さんの人生が、夢と希望で溢れたものになりますように。

〔池田 みずず〕